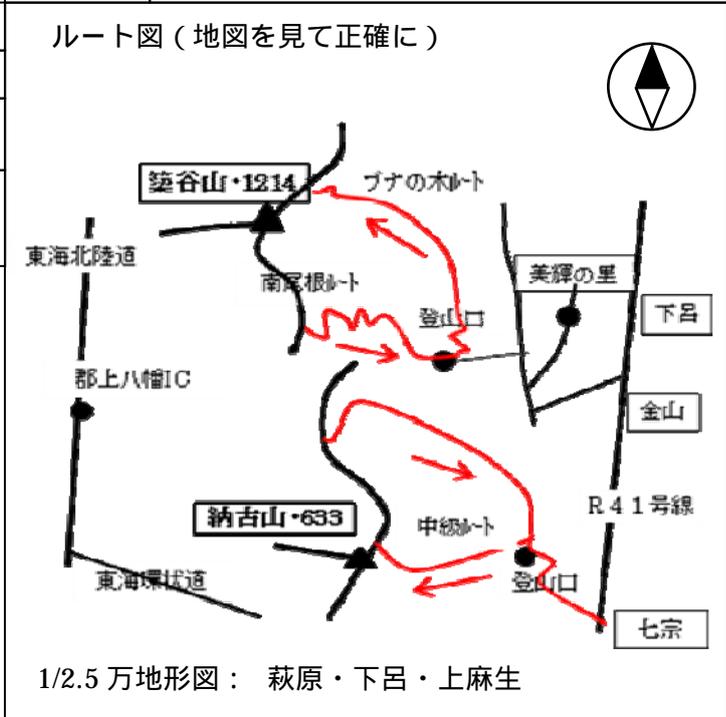


11月度 例会 個人 山行報告書		報告者	竹内幹雄	参加メンバー CL : 竹内幹雄 塚本英吾 青木久 浜島弘一 白井義道 石井満 佐溝直彦 不破孝浩 福井正信 渡辺勝利 片山嘉夫 牧野勤
		報告日	11 / 08	
山 域	岐阜・飛騨川流域	山行日	13年 10月30日(水) ~	
山 名	納古山・築谷山		13年 10月31日(木)	
山行目的	親睦紅葉山行		コースタイム (天候: 天気図記号)	

配布先
総会参加数
山行: 1
リーダー
原紙:
会事務局



納古山 10/30 晴れ 7:10 刈谷発 9:35 登山口(車P) 10:30 天空岩 11:10 鎖のある岩場 11:30 納古山頂上 (633m) 12:15 下山開始 12:25 分岐 13:23 林道 13:31 車P	築谷山 10/31 晴れ 8:00 下呂飛泉荘発 9:14 登山口 9:55 稜線 915m 10:53 築谷山頂上 (1214m) 11:20 下山開始 12:10 水場 (小鹿の涙) 13:05 登山口
--	---



岩場を登る



黄葉の下のスナップ

山行報告 早朝、刈谷を出発、東海環状自動車道で美濃加茂 IC を出て R41 で道の駅「ロックガーデンひちそう」に寄る。ここから旧道に入り木和谷林道を進むと登山口の標識が見えてきた。近くの広場に車を駐車、登山口に向かう。標識に中級コースと表示されておりここから登山開始。樹林の中を沢沿いに進むが登山道はしっかりしていて道に迷うことはない。やがて沢から離れさらに進むと樹林の中に岩場が見えてきた。これが天空岩だ。階段状になっていて登りやすい。登り終わったところで一本。ここから尾根に出てさらに進むと鎖の付いた岩場が現れる。手足を使って慎重に登る。ここを過ぎると程なく分岐に到着、「頂上まであと一息」と思いながら歩く。頂上に到着。360度の展望で遠くの乗鞍岳も見えるはずだが、今日は空が霞んでいて見えない。頂上は先客が数人いる。その人達と会話していたら、その中の一人が「納古山」登頂 1776 回目の達人と聞いてビックリ。休憩後、下山は分岐から初級コースの標識があるルートを下る。登りに比べればそんなに険しくない。先に進むとやがて登山道は沢沿いとなりすぐに林道に出た。そこから数分で車を置いた広場に到着。そして車で宿泊地の下呂へ向かう。翌日は朝 8 時出発、車で R41 を南下して「飛騨金山の森」へ向かい、さらにそこを抜けて築谷山の標識に従い走行、林道終点に車を止めると築谷山登山口である。登山口付近の紅葉は、まだ早い感じである。ブナの木のルートから登り始める。落葉樹林が多く紅葉の時期は「いい景色かな?」と思

いながら歩く。ジグザグの登りから尾根歩きとなり標高 900m を越えた辺りから紅葉が良くなってきた。落ち葉で埋まった緩やかな登山道を、紅葉を楽しみながら登る。そして頂上に到着。展望も良く御嶽山も見える。下山は南尾根コースを下る。ゴツゴツした道の上を歩く。途中にある水場で休憩、そこから一気に登山口へと下った。その後、道の駅「馬瀬美輝の里」で温泉に入り R472 から郡上八幡 IC に入り刈谷に帰宅した。



「納古山頂上」633m にて前列左から 3 番目が納古山に 1776 回目の登頂をした市田さん(74 歳) (写真提供: 不破さん)

リーダー所見 「納古山」は時期が早いのか紅葉が見られませんでした。「築谷山」は登山口付近の紅葉はまだでしたが標高が 900m 以上になると黄色く色付いていました。「シロモシ」の葉が鮮やかな黄色になり紅葉を十分楽しむことができました。また、メンバーは 62~85 歳と幅広い年齢層で秋晴れの中、和気あいあいで元気に楽しい山行ができました。参加者のみなさん、本当にありがとうございました。

確認 (リーダー) 竹 13/11/08 内
作成 (報告者) 竹 13/11/08 内